

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公開番号】特開2010-271592(P2010-271592A)

【公開日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-048

【出願番号】特願2009-124549(P2009-124549)

【国際特許分類】

G 02 F 1/13357 (2006.01)

H 01 J 61/30 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/13357

H 01 J 61/30 T

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月13日(2012.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の一態様による光源装置は、一端側と他端側とで長さ方向の輝度分布に勾配を有する直管形の低圧放電灯を光源として並列に複数配列し、当該複数の低圧放電灯によって照射対象を露光する光源装置であって、相対的に低輝度側の端部と高輝度側の端部とが交互に配置されるよう前記各低圧放電灯を配列し、前記各低圧放電灯から前記照射対象までの照射距離を、前記各低圧放電灯の配列間隔に対して1.5倍乃至3倍の範囲内に設定するとともに、少なくとも、前記低圧放電灯の長さ方向の両端側に対応する前記照射領域の両端部に、前記低圧放電灯から前記照射領域外に向けて放射される光を反射する側面反射板を設けたものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一端側と他端側とで長さ方向の輝度分布に勾配を有する直管形の低圧放電灯を光源として並列に複数配列し、当該複数の低圧放電灯によって照射対象を露光する光源装置であって、

相対的に低輝度側の端部と高輝度側の端部とが交互に配置されるよう前記各低圧放電灯を配列し、

前記各低圧放電灯から前記照射対象までの照射距離を、前記各低圧放電灯の配列間隔に対して1.5倍乃至3倍の範囲内に設定するとともに、

少なくとも、前記低圧放電灯の長さ方向の両端側に対応する前記照射領域の両端部に、前記低圧放電灯から前記照射領域外に向けて放射される光を反射する側面反射板を設けたことを特徴とする光源装置。

【請求項2】

複数の前記低圧放電灯の配列方向の両端側に対応する前記照射領域の両端部に、前記低

圧放電灯から前記照射領域外に向けて放射される光を反射する側面反射板を設けたことを特徴とする請求項1記載の光源装置。

【請求項3】

前記低圧放電灯から反露光側に向けて放射される光を反射する反射板を設けたことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の光源装置。

【請求項4】

前記配列の端部に位置する前記低圧放電灯を、他の前記低圧放電灯よりも相対的に前記照射対象側にオフセットさせたことを特徴とする請求項1乃至請求項3の何れか1項に記載の光源装置。